

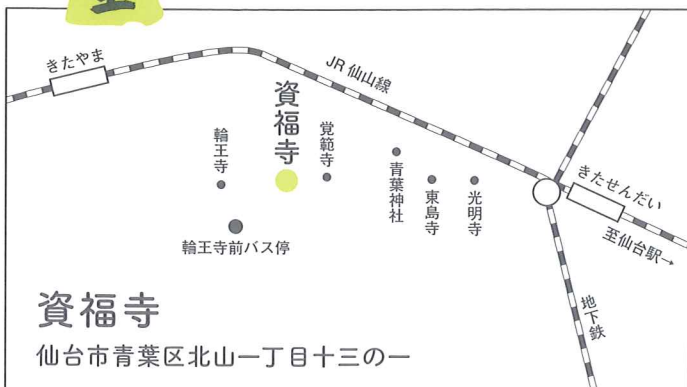
「こんなに難しい文章が、あんな小さな子どもに分かるんですか」という御質問を多くの親御さんから頂戴する。勿論、我々の尺度でこれらの論語を理解しているとは到底思えない。でも子どもたちは子どもたちの感覚で、これらを我々以上に吸収、理解しているように思えてならない。一旦彼らの耳に入った論語の章句たちは、彼らの遊びに、或いは悪戯に、生活そのものに入り込んでしまう。それぞれの子どもたちは勝手に独自の論語ワールドを作り上げ、その中を見事に泳ぎ回るのである。その自由闊達さは到底大人の及ぶ所ではない。彼らは論語の一言一句をとらえて離さないのだ。

「これを知る者は、これを好む者に如かず」
「これを好む者は、これを楽しむ者に如かず」



せんせい
安岡定子 やすおかさだこ
(銀座・寺子屋こども論語塾代表)
一九六〇年東京生まれ。二松学舎大学文学部中国文学科卒業。漢学者・安岡正篤の孫。現在「銀座・寺子屋こども論語塾」「斯文会・こども論語塾」「龍光院・寸松塾」をはじめ宮城県塩竈市、茨城県水戸市、宮崎県都城市等、全国各地で定例講座は二十五講座に及び、幼い子どもたちやその保護者に「論語」を講義している。

龍光院住職 小堀月浦



穿鑿金鎚一株大樹
成於天下人與
陰涼作り去ルコト
在ラシ。

午前九時開場
呈茶
論語
齋座
坐禅
午後二時閉場

第二回 平成二十八年
せんせい
安岡定子
(銀座・寺子屋こども論語塾代表)
大徳寺
龍光院
こどものための
論語教室
とき
三月二十日(日)
ところ
資福寺
(仙台市青葉区北山一丁目十三の一)

入場無料

寸松塾